Executive Producer: RYOHIN KEIKAKU CO., LTD.
Producer: Mitsuru Tanaka (RYOHIN KEIKAKU CO., LTD.)
Director: Yutaka Iori (IS Planning, Ltd.)
Recording Engineer: Patric Peron
Recording Studio: Boutou Studio, Plouarzel, Brittany 21 - 23 July, 2012
Production Coordinator: Mariko Fujiwara Clarke (Coool Communications Ltd., UK)
Photo shoot co-ordinator: Kazu Asai Guihaire
Mixing Engineer: Kouji Katsuta
Mastering Engineer: Nobuo Ishizaki
Mixing & Mastering Studio: Tuppence House Studio, Tokyo, Japan
Art Director: Norito Shinmura
Art Designer: Kousuke Niwano
Photographer: Yuka Watanabe
Special thanks to: Dominique, Clare, Lucienne and their beautiful dogs,
Inou & Beno at Boutou Studio, Dominique Bouley,
Sebastein & Kanae Guihaire and all the lovely people in Brittany!

Product Management: Masatoshi Ishihara (I&S BBDO, Inc.)

無印良品

株式会社 良品計画 〈お客様センター〉03-3989-5200
万一お気づきの点がございましたら、上記お客様室又はお買いあげの店舗までお問合せ下さい。

企画・発売・株式会社 良品計画

このコンパクトディスクを権利者の許諾なく賃貸業に使用することを禁じます。
また無断でテープその他に録音することは法律で禁じられています。

税込1050円（本体価格1000円）

①《取り扱い上のご注意》●ディスクは指紋、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付けないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですので絶対に使用しないで下さい。②《保管上のご注意》●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

ブルターニュの「地力」

このアルバムを聴いていると、まだ誰も知らなかったある時空を超えた真理が立ちあがってくるかのようだ。すなわち「ブルターニュ」とはフランスの西の端の「ひとつの周縁」なのではなく、また単に伝統への郷愁を醸し出す「ケルト文化の一角」では更にない。そこはいわば「人類史のあらゆる段階の地層と動力」を積み重ねてきた稀有なる半島。地理上は「地の果て（フィニステール）」に控えていながら、ユーラシア文明の「先端部・舳先（キャップ）」として、生きつづけてきた場所なのであるということを。それは特別の二重性をもったブルターニュという場所の力であるとも言いかえることができる。二重性とは、「自然と人間」「周縁と中心」「死者と生者」「自然崇拝とキリスト教」「闇と光」。要は人間がたどってきた「古い時間（経験）と新しい時間（来るべき経験）」が、つねに再生の渦に放りこまれて生まれ変わることを、彼らの身と心で営々と動力のように動かしてきた、その誇りが、アルバムを聴きこもに連れて、じわりと沁みて来る。現代では原動機とか装置の意味で使われる「エンジン」という言葉は、元はラテン語で「エン（中に）＋ジン（生む）」。つまり「内部で力を生み出すもの」を意味し、ひるがえって「才能」の意でもあった。ブルターニュの西の果て、フィニステール地方の都で「イスの町の伝説」ゆかりのカンペールと、古代の港から発展したブレストを拠点に制作されたこのアルバムには、まさに太古からのブルターニュの「生みだす力」を再現するかのようなチューンが集められている。ブルターニュの「地力」が動力となって音楽化しているとも

言いかえることができる。すなわち「終わり」かと思えば、また「始まる」力。そうしたまことの動力の才能をもつ永遠の土地（ラ）なのである。クロード・ドビュッシーが魅せられ作曲した「イスの町の伝説」の底から響く鐘の音のように、ブルターニュ音楽の内奥に響いている「地力」に出会うためには、ブルターニュの4つの地方の都であるレンヌは入り口にすぎない。そこを起点に南西に向けて海に出ると青いモルビアン湾があり、カルナックなどの数千年前の巨石がならび、ヨーロッパで最も古い時空に私たちは潜入することになる。19世紀、ハイネもスタンダールも巨石と対面し太古の時間に触れては言葉を失った。

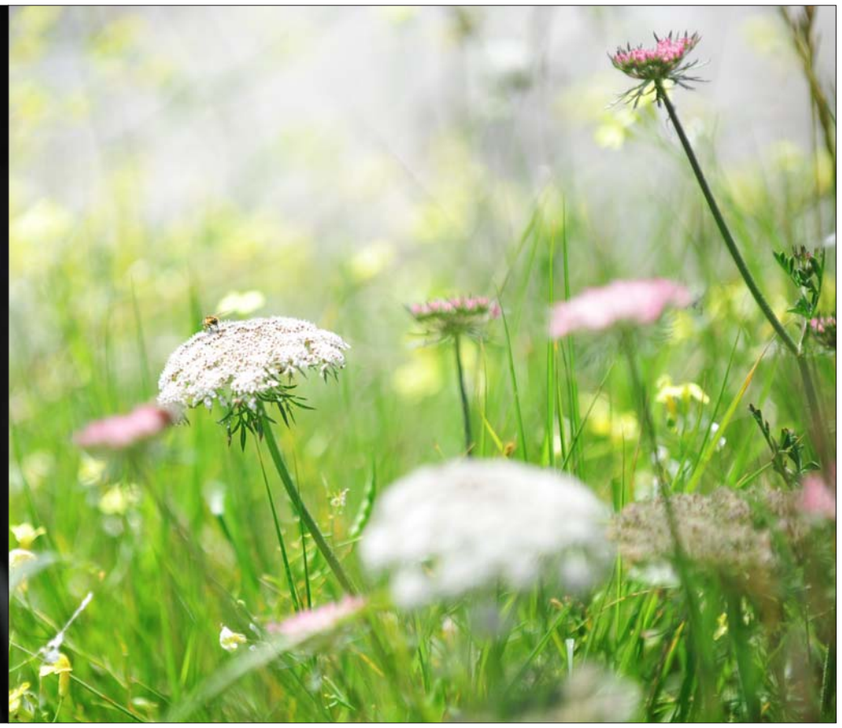
そして更に湾に沿って西に進むとコンカルノーやポンタヴァンなど、夏ともなればパルドン祭で華やぐ村や町がある。ポンタヴァンに赴いたのはあの画家ゴーガンだったことを思い出そう。彼のまなざしの先にはヨーロッパ文明にとって異界であり未知だった野性の大海とタヒチがあった。人間の力で刈り込まれない野性と地の力が、たしかにブルターニュの陸と海にあると彼は直観していた。そのまなざしに沿って大西洋の方へ向かってゆけば、フィニステールに至り、騎士トリスタンを追ってイゾルデも渡ってきた水界が見えてくる。その都がカンペール、更にそこから北上してブレストに至るのである。

ここに収められている楽曲と歌は「愛」と「病」、「森」や「泉」、「戦い」から「結婚式」「ダンス」まで分厚い主題を扱っているが、どの曲にも「反復する力強さ」が表明している。

そば粉のクレープやガレットの滋味、林檎のシードルの太陽の滴。舌を満足させるそれらの味覚にも通じて、ボンバルドやハープや歌声は、私たちの聴覚から地力へと導くのである。

鶴岡真弓
多摩美術大学 芸術人類学研究所・所長
ケルト/ユーロ=アジア芸術文明研究

P
FERME



1. Bale Arzon
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard (violin), Eric Liorzou(guitar), Clotilde Trouillaud(harp)

2. Kost ar c'hoat
Loïc Le Borgne(accordion), Thomas Bocher(flute), Eric Liorzou(guitar), Gael Nicol(bombard)

3. An Hini a Garan
Eric Liorzou(guitar), Ffran May(vocal)

4. Diougan Gwenc'hlan
Eric Liorzou(guitar), Thomas Bocher(flute)

5. Hanter Dro
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin), Eric Liorzou(guitar), Clotilde Trouillaud(harp)

6. Jenovefa Rustefan
Clotilde Trouillaud(harp), Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin)

7. Rond de Loudéac
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin), Eric Liorzou(guitar), Clotilde Trouillaud(harp)

8. Baleu
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin), Eric Liorzou(guitar), Clotilde Trouillaud(harp)

9. Riqueniée
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin), Eric Liorzou(guitar), Clotilde Trouillaud(harp)

10. Gwerz Marv Pontkalleg
Clotilde Trouillaud(harp), Thomas Bocher(flute)

11. Ar Re c'hlaz
Clotilde Trouillaud(harp), Ffran May(vocal)

12. Eun Den Yaouank
Thomas Bocher(flute), Jackey Molard(violin), Eric Liorzou(guitar)

13. Pach Pi
Loïc Le Borgne(accordion), Thomas Bocher(flute), Eric Liorzou(guitar), Gael Nicol(bombard)

14. Ridée 6 temps
Loïc Le Borgne(accordion), Thomas Bocher(flute), Eric Liorzou(guitar)

BGM
18

BGM18 Musicians in Brittany

Eric Liorzou エリック・リオズゥ - ギター、マンドラ

ブルターニュ出身。1973年からプロとして本格的に活動開始。以来、同バンド、またソロ・ギタリストとしても地元のや世界中のフェスティバル等で活躍。アー・ブレジィ・ルゥズはブルターニュで最も有名なブルトン音楽バンドとして人気を博す。現在までに30枚以上のレコード/CDを制作。

Thomas Bocher トマ・ボシェ - フルート

様々なフェスト=ノズやパガッドに参加しながら経験を積み、ウッド・フルートの第一人者としての地位を築く。様々なバンドと共演しながら、ブルターニュやフランスだけでなく、ヨーロッパ、アメリカ、中国等でも活躍中。

Loïc Le Borgne ロイック・ル・ボーニュ - アコーディオン

フランスで著名なギタリスト、エリック・リオズゥや手腕ベース・プレイヤーのアラン・フロック等と共に最も有名なブルトン・バンド、アー・ブレジィ・ルゥズに参加。ブルトン音楽だけでなく、フランスのアコーディオン・スタイルであるミュゼットやブルース、南アメリカや東ヨーロッパの音楽も奏でる多彩なアコーディオン奏者。

Clotilde Trouillaud クロティルド・トルイヨー - ハープ

フィーユゥズ・ド・ニュイのトリオやプログレッシブ音楽のカルテット、シルバでの活動でも知られる人気ハープ奏者。ブルトン音楽をルーツとした独自のソロ・レパートリーの創作活動にも専念している。

Jacky Molard ジャッキー・モラー - ヴァイオリン

ブルターニュのヴァイオリン奏者の権威。30年以上に渡り、数多くのバンドのリーダー、アレンジャー、コンポーザーとして活躍し、幅広いキャリアを持つ。アーティスト・ダイレクター、レコーディング・プロデューサーとしても世界的に有名。

Gael Nicol ガエル・ニコル - ボンバルド

幼少の頃からボンバルドとブルトンのバグパイプ、ビヌー・コォズを学ぶ。人気クインテット・バンドのア・レ・ヤウォンクのメンバーとして何度もヨーロッパ・ツアー経験し、名ボンバルド奏者の地位を確立。現在も様々なバンドと精力的に活動を続けている。

Ffran May フラン・メイ - ボーカル

イギリスの南西ウェールズ出身。ウェールズの姉妹国であるブルターニュで現地の音楽や文化を研究。ブルトン語に精通し、ブルトン生活を鮮明に描いた地元ならではのバラード、ブルトン・グエルズに魅了されている。